

ふくしまの未来に向けたみんなのアクション

THE FUKUSHIMA 2020 INFORMATION Vol.3

最新注目ニュース

2018.3.1 (木) 発行

東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技開催に向け「県営あづま球場」改修方針固まる！

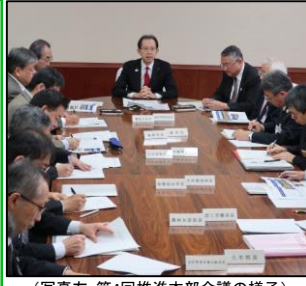
2018年1月29日(月)に開催された県庁内の部局横断会議「2020年東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部会議【第4回】」において、県営あづま球場の改修方針が知事(本部長)、副知事(副本部長)、全部局長等出席のもと確認されました。
会議においては、文化スポーツ局長より、これまでの(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との調整経過や、国内・県内競技団体等からの要望、意見等の状況に関する説明の後、土木部長より具体的な改修内容や想定されるスケジュール等が説明されました。
その他、改修にあたっては、県費による支出を低減させるため「スポーツ振興くじ助成金」を最大限活用することや、利用者への影響が最小限となる球場オフシーズンを中心に改修工事を予定することなどが示されました。

<主な改修概要>

- ◆機能性向上視点
内外野含むグラウンド等の人工芝化(現状:外野天然芝、内野黒土)、外野フェンス改修等
※人工芝化により、排水性の改善、利便性(年間を通じた利用可等)の向上、年間維持管理費の低減等が見込まれている。
- ◆老朽化対策視点
運営室(放送室、審判室ほか)、トイレ、シャワー室改修等
- ◆バリアフリー視点
車いす昇降設備、車いす席及び多目的トイレの増設等

<スケジュール(想定)>

- ◆平成30~31年度(2018~19)の2カ年の球場オフシーズン(概ね11~4月)を中心に改修工事を予定。



(写真左: 第4回推進本部会議の様子)



(写真右: 推進本部会議で公表された改修後あづま球場パース図(内野部も含め、人工芝化))

(主催: 福島県、東邦銀行 後援: 福島県野球団体協議会 ほか)

ふくしまベースボールドリームbeyond2020

「上原浩治・鈴木尚広 野球教室〜がんばれ!ふくしまの野球少年少女!〜」が開催されました!

昨年メジャーリーグシカゴカブスで活躍した上原浩治氏と相馬市出身で元読売巨人軍の鈴木尚広氏を講師に迎え、2018年1月20日(土)に県あづま総合体育館で開催された同イベントは、東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技の開催に向けた県内機運の醸成と子どもたちの夢を育むことなどを目的に県と東邦銀行の共催で実現しました。



(写真: 上から「指導中の鈴木氏」、「子どもと触れ合う上原氏」、「トークショーの様子」、「全員での記念撮影」)

(南相馬市、内閣官房、福島県)

南相馬市が「復興ありがとうホストタウン」交流相手国 アフリカ ジブチ共和国を訪問!

2月11日(日)~17日(土)の日程で、南相馬市の「復興ありがとうホストタウン」相手国であるアフリカのジブチ共和国を同市職員、市内の空手指導者及び国、県の関係職員が訪問しました(内閣官房ホストタウン調査モデル事業の一環)。
同国滞在中、地元中学校や空手道場等で空手を通じたスポーツ交流を行った一行は、空手道具を寄贈するなどし、参加した生徒等からは大変喜ばれました。そのほか、青年・スポーツ担当大臣や外務次官等政府高官を訪問し、東日本大震災における町への支援に感謝を伝えるとともに、同国オリンピック委員会(NOC)訪問時は、東京2020大会での同国チームの事前キャンプ実現を働きかけました。

<ジブチ共和国からの支援>

平成24年4月26日にアムド、アラタ、アリ駐日ジブチ共和国大使館特命全権大使が南相馬市を訪れ、大統領及び国民からのお見舞いの言葉、一千万円を超える義援金を寄附。



(写真: 同国NOC訪問時の様子)



(写真: 地元空手道場での交流)

[東京2020公認プログラム]

(主催: (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、東京都 後援: 福島県、郡山市 ほか)

平昌冬季五輪を応援する「東京2020ライブサイトin2018」が郡山駅前で開催!!

同イベントは、2018年2月9日(金)に開幕した平昌(韓国)冬季オリンピックのアスリートたちの熱き戦いを観戦するパブリックビューイングとして、2月18日(日)郡山駅西口広場にて開催されました。



(写真: 観戦する多くの来場者)

当日は、男子カーリング予選「日本対アメリカ」戦がライブ中継され、屋外に設置された大型ビジョンの前には、延べ約5千人の観戦者が集まり、日本の勝利が決定した際には大いに盛り上がりました。また、ステージでは3代目J Soul Brothersのエリーさんのライブやココリコ遠藤さんと元読売巨人軍 鈴木尚広氏のトークショー、体験ブースでは、VR(ヴァーチャルリアリティ)を使用した車イス陸上競技体験等盛りだくさんの内容で来場した方々はオリンピックの雰囲気を楽しみました。



(写真: コロリコ遠藤さんと鈴木氏によるトークステージ)

(南会津町)

ようこそアルメニア大使! レスリング事前キャンプに向け南会津町を視察

町で盛んなレスリング競技の事前キャンプ誘致を目指す南会津町をレスリング強豪国の欧州 アルメニア共和国ポゴシアン大使が、2月3~4日の2日間、町の施設の視察に訪れました。

町では、大使を手厚く歓迎するとともに、同国チームの東京2020大会事前キャンプ実現をお願いしました。

ポゴシアン大使からは、町のおもてなしに対する感謝の意が述べられるとともに、今後、本国へ同町施設を推薦していく旨の話がされました。



(写真上: 体育館視察中の大使)

(写真左: 歓迎するちびっこレスラー)

(主催: (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 共催: 福島県、宮城県、岩手県、復興庁(ほか))

ふくしまの魅力ある食を東京2020大会で! 「IOC調整委員会公式夕食会」で県産食材をPR!

昨年12月12日(火)に都内で開催された東京2020大会の準備状況等を確認するIOC調整委員会後の公式夕食会において、本県を含む東日本大震災で被災した東北3県の食材を使用したディナーメニューが提供されました。

また、夕食会の前には、各県の食材や地酒等の試食・試飲が出来るブースが設けられ、魅力ある本県食材の大会での活用をアピールしました。



(写真上: 福島県ブース 写真下: 大会組織委員会 室伏スポーツディレクターに魅力を伝える職員)

PICK UP! 今さら聞けない!? “GAP” って何ですか?



POINT 1

“GAP”とは、Good Agricultural Practiceのことなんです!

直訳すると、「良い農業の実践」。ルールを守り、リスクを無くしていこうという取組のことで、この取組を第三者に認められることが『GAP認証』です。

POINT 2

“GAP”認証と東京オリンピック・パラリンピック

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、2020年に開催される東京大会での選手村やメディアセンターなどで提供する飲食メニューに使用する農産物等食材の調達基準において、GAPによる生産を要件として調達することとしました。

オリンピック・パラリンピックは、未来の環境への配慮などの持続可能性を大会運営における重要な視点としており、GAP認証は、まさにこの持続可能性の考え方にマッチするものです。

GAPの取組は、流通業者や食品加工業者にも浸透しつつありますが、今後、消費者にも、選手達が口にする安全性や環境等に配慮した食材を自分達も口にしたいと思う流れが拡大するかもしれません。

※東京オリンピック・パラリンピックの調達基準では、農産物のほかにも、畜産物、水産物、木材等の調達において同様に持続可能性の配慮やトレーサビリティ(流通上の生産者追跡)等が重視されています。

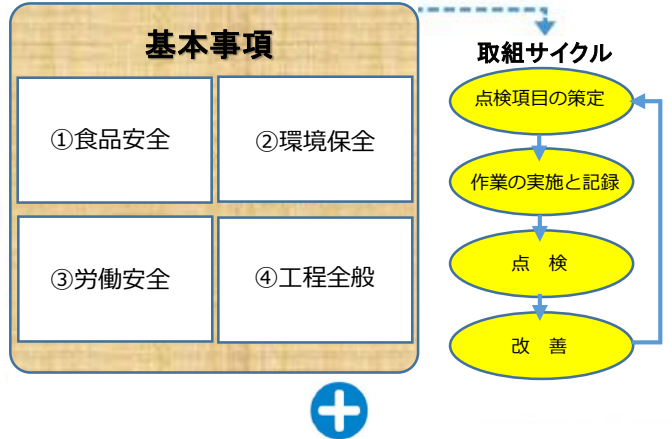


POINT 3

“GAP”の実行イメージ

生産者自らが、より良い農業の実践のため食品安全等を始めとした各種点検項目を定め、実践、点検、見直し改善を繰り返します。

< 実践する >



< GAP認証をとる >

GLOBALG.A.P. 欧州の大手小売が主導し策定した、国際的に広く通用する第三者認証GAP	JGAP/ASIAGAP 日本の農業者や流通業者・学識経験者などが参画し、つくられた第三者GAP	FGAP(福島県GAP) 農林水産省ガイドラインに準拠したGAPにより福島県が認証する公的認証GAP
---	--	--



東京2020大会へ向け信頼性向上、見えない価値の見える化

POINT 4

目指せ“GAP”認証取得日本一!福島県の取組!

今だ根強く残る福島県の農林産物への風評を払拭するため、福島県は、この世界的にも注目されるGAP着目。

GAP認証取得日本一を目指し、2017年5月福島県とJ A 福島中央会は「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を行いました。

今後、認証取得の拡大が風評払拭への起爆材に繋がるものと期待されるほか、認証取得のプロセスを通して、県産農林産物の安全性をより向上させ、更には環境保全や労働安全、作業の効率化、そして、農業経営の改善に繋がること期待されています。



2017年度取得見込件数(1月5日現在)

合計66件 (内訳)GLOBALG.A.P. 21件、ASIAGAP 4件、JGAP 38件、FGAP 3件

※上記件数は、本年度認証済み及び申請中の合算件数。前年認証件数の約6倍となる見込まれています。

COMING SOON!

(主催: 福島県 企画・運営: (株)楽天野球団 協力: (一社)東北経済連合会/(株)明治ほか 後援: いわき市/(株)福島県民球団福島ホース/県野球団体協議会/県ソフトボール協会)

ふくしま野球・ソフトボールドリームbeyond2020

「ボールパークピクニック!」キックオフイベント

3/10(土)いわきグリーンベースにて開催!

「ボールパークは楽しいところ!」をコンセプトとし、東京2020オリンピック野球・ソフトボール開催の機運醸成や競技への興味・関心の拡大を目的に開催する楽しいイベントです。楽天イーグルスアカデミーコーチによる親子野球教室(主に未就学児対象: 事前申込み制)のほか、申込み不要で楽しめるアトラクションエリアを設置!

2018.3.10(土) 参加 入場無料

親子野球教室

2018.3.10(土) 15:00~18:00

福島県いわき市いわきグリーンベース

申し込み不要

申し込み方法: 左記QRコードより

<申込期限> 3/8(木)

<申込人数> 各回150組 (300人)

(主催: 福島県/相双地方復興ツリズム推進委員会 協力: 相馬市/相馬商工会議所ほか)

「浜のサムライワールドin松川浦」

3/25(日)相馬松川浦漁港(松川浦大橋近辺)にて開催!

本年3/10(土)に相馬福島道路「霊山IC」~「相馬玉野IC」間が開通し、山形県米沢市から福島市、桑折町、伊達市、相双地方までの往來利便性が格段に向上します。本イベントは、開通を記念するとともに、広域観光の推進のために開催されます。

当日は、各ご当地の魅力ある食を提供するブースはもちろんのこと、福島を世界に発信するパイロット「室屋義秀」のエアショー・トークショーを開催!

また、県内での東京2020オリンピック・パラリンピック開催を身近に感じてもらえる各種体験とステージをよまじのこコロコ遠藤や南海キャンディーズしずちゃん等が盛り上げます。

大人から子どもまで楽しめるバラエティに富んだイベントに是非開通したての相馬福島道路を通ってお越しください!



(主催: 福島県/福島県教育委員会/声楽アンサンブルコンテスト全国大会実行委員会 共催: (一社)全日本合唱連盟 ほか 後援: 文化庁 ほか)

第11回「声楽アンサンブルコンテスト全国大会」

3/22(木)~25(日)福島市音楽堂にて開催!

合唱王国ふくしまを代表する大会「声楽アンサンブルコンテスト全国大会」が今年も開催されます。11回目を迎え、合唱を愛好するみなさんが目標とする大会として定着しています。今年、ふくしまに集結するのは、国内外の計127団体。各都道府県の合唱連盟の推薦を勝ち取り出場を決めた団体、厳しい一般公募を勝ち抜き出場を決めた団体、いずれもハイレベルな歌声をふくしまに響かせます。

第11回 声楽アンサンブルコンテスト全国大会

3/22~25 福島市音楽堂

※チケット販売: チケットぴあ、ローソンチケット、福島市音楽堂等で購入いただけます。

<第1日>中学校部門
<第2日>高等学校部門
<第3日>小学校・ジュニア部門/一般部門
<第4日>本選(各部門金賞受賞団体によるコンテスト)

ウェブサイト「ふくしまプラス2020」への掲載の御案内

福島県では、平成29年3月に東京2020大会に向けた県内外の各種情報を発信するためのポータルサイト「ふくしまプラス2020」を開設しています。

皆様の東京2020大会に向けたイベントや取組で掲載を希望されるものがあれば、御相談ください。(サイトURL: <https://www.fuku-plus2020.jp/> 担当: スポーツ課 田部 ☎024-521-7312)

【発行日】

平成30年 3月 1日 発行

【発行者】

東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議事務局(県スポーツ課内)

【お問合せ】

fuku2020@pref.fukushima.lg.jp